



**ねずみさんのおかいもの**  
多田ヒロシ著  
お母さんに頼まれて、ねずみの兄弟がお買  
い物。荷車を引いて、何を買いに行くのかな？  
いろんなお店に行って、大荷物で帰った子  
ねずみたちを待っていたのは…。お買物の楽  
しさがいっぱい詰まった絵本です。

## 法律講座の受講生を募集

### 身近な法律知識教えます

遺言や相続問題、成年後見  
制度、境界トラブルなどは、  
誰にでも起こる問題です。  
公民館では、法律講座「身

近な法律知識教えます」を開  
講し、法務局職員が現場での  
知識を生かして分かりやすく  
皆さんの疑問に答えます。

- 開催日および内容**
- ①平成 23 月 1 月 12 日 (水)  
「遺言ってどうすればいいんでしょう？」
  - ②平成 23 月 1 月 19 日 (水)  
「私の相続分は？ 登記手続き」
  - ③平成 23 月 1 月 26 日 (水)  
「土地の境界あれこれ (筆界特定制度)」
  - ④平成 23 月 2 月 2 日 (水)  
「自分のために みんなの安心成年後見制度」



- ▽対象者 市内在住・在勤者  
40人
- ▽定員 40人
- ▽参加費 300円(4回分)
- ▽持ってくるもの 筆記用具
- ▽時間 午前10時～午前11時  
30分
- ▽募集期間 12月7日(火)  
～24日(金)
- ▽問い合わせ・申込先  
中央公民館

- 子どもを対象とした事業  
「わくわくチャレンジ」では、  
この時期ならではの楽しい行  
事を行います。皆さんの参加  
をお待ちしています。
- ①お飾り作り  
▽日時 12月18日(土)  
午後1時30分～午後3時30分
  - ▽参加費 100円
  - ▽場所 長船町公民館
  - ②クリスマスケーキ作り  
▽日時 12月24日(金)  
午後3時～午後4時30分
  - ▽場所 牛窓町公民館
  - ▽定員 20人(先着順)
  - ▽持ってくるもの 三角巾、  
エプロン、布巾
  - ▽参加費 100円+材料代
- ※材料代は、当日お知らせし  
ます。

## 集まれ、子どもたち！ わくわくチャレンジ

## 公民館講座に加わります ヨガのヨガ教室

ヨガのポーズと呼吸法を使  
い、自分自身と向かい合うこ  
とで、気づき、変化が生まれ  
ます。一緒に心地よい時間を  
過ごしましょう。

- ▽日時 毎週木・土曜  
午前10時30分～午前11時30分
- ▽場所 中央公民館
- ▽持ってくるもの ヨガマッ  
ト(バスタオルでも可)
- ▽料金 3,000円(月額)

※月単位で申し込みない場合  
は、1回1,000円です。  
※初回は無料です。

- ▽問い合わせ先  
小松原さん  
☎090-7494-2214

## 地図に隠された「県民性」の歴史雑学 三浦竜 & 日本史倶楽部 著

江戸時代の「貯蓄癖」が抜けない愛知県民、「ダル  
マは青色」と思い込む宮城県民。お隣の県のことでも、  
案外分かっていないもの。そんな日本全国の県民性  
に、歴史や地図などから迫ります。意外に思うことも、  
最後には「なるほど！」と納得できるはずですよ。



Books



巻の七十一

## 地域の歴史を刻んで 美和神社と広高山

美和神社(長船町東須恵)  
は、延喜5(927)年にま  
とめられた「延喜式」の神名  
帳(当時「官社」とされてい  
た全国の神社一覽)に片山日  
子神社(長船町土師)や安仁  
神社(岡山市東区西大寺)と  
ともに記載されている古社  
で、標高166メートルの広  
高山山頂にあります。

### 広高山に残る伝説

広高山には、地名の由来を  
伝える伝説が残っています。  
神功皇后が乗った軍船が牛  
窓の蕪崎で休憩したとき、皇  
後の愛馬である白鷹が誤って



美和神社

海に落ちました。白鷹は錦海  
湾を北に向かって泳ぎ、尻海  
に上陸しました。陸に上がっ  
た白鷹は、さらに山中を走っ  
て、須恵の山へ駆け上がり、  
そこで息が絶えて死んでしま  
いました。

須恵の住民は白鷹をねんご  
ろに葬り、山の名を「白鷹山」  
と呼ぶようになりました。そ  
れが後に「広高山」になった  
といわれています。

### 美和神社の由来

祭神は大物主神で、大神神  
社(奈良県桜井市)から勧請  
したといわれています。勧請  
年月は不明ですが、この地に  
移住してきた須恵器の陶工集  
団と関係があるとされ、7世  
紀前後と考えられています。

その後、金川(岡山市北区  
御津)の城主松田左近が日蓮  
宗を信奉し、領内の神社を弾  
圧したとき、難を避けるため  
「広高八幡宮」と改称したと  
いわれています。  
これが記録されている文書  
はありませんが、鳥居の扁額  
には神八幡宮と刻字されてい



広高八幡宮文字瓦 (右は拓本)

ることから、改称は実際に行  
われたと考えられます。

なお、明治3(1870)  
年には元の美和神社に復称  
し、今日に至っています。  
境内からは、「天正十三年  
閏七月拾三日 八幡舞殿建立  
つかまつり候 すへ畑寺 空  
賢 敬白 西蔵坊行海」とへ  
ラ書きされた丸瓦が出土して  
います。

瓦には、天正13(1535)  
年に広高八幡宮に舞殿を建立  
するときに、美和神社の別当  
寺(神社に付属して置かれた  
寺のこと)であった「畑山大  
聖寺」から寄進されたものと  
推測され、この刻字により舞  
殿が建てられ舞が奉納されて

いたことが分かります。  
慶安元(1648)年の記  
録によると神職2人、神子・  
禰宜24人が奉仕していまし  
た。また、神輿3基、流鏑馬  
用の馬が3頭、御神幸用の馬  
が9頭とあり、祭典が盛大に  
行われていたようです。  
現在でも、毎年10月8・9  
日には、東須恵と西須恵の禰  
主と神職および従者数名が、  
海岸で潮ごりをとり、身を清  
めた後、広高神社へ酒・米な  
ど供えてお祭りをする行事が  
続いています。

### ヤマモモの巨木

美和神社の本殿北側には、  
自生したものと思われる樹齢  
約300年のヤマモモの古木  
があります。

このヤマモモは、市の重要  
文化財に指定されており、大  
きさは高さ10メートル、枝葉  
の広がり東西15メートル、  
南北10メートルの巨木です。  
憩いの場となっている美和  
神社とともに、長年地域の人  
に親しまれています。